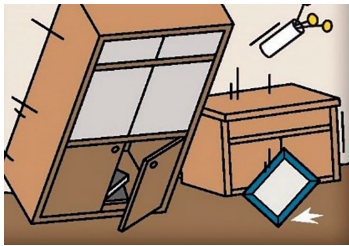


災害用備蓄 していますか？

今後30年以内に70%の確率で発生すると予測されている首都直下地震では、市域において、最大震度6強の強い揺れが発生すると想定されています。

災害によって、電気やガス、水道などのライフラインが断たれた際の備えとして、家庭内での災害用備蓄について考えてみましょう。
問 危機管理防災課 ☎ 804

震度6強の地震では



- ・立って動くことができない
- ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れてくる
- ・耐震性の低い木造建築物は倒壊するおそれがある

●ライフラインが被害を受けると…

首都直下地震などによりライフラインが被害を受けた場合は、避難生活において多くの制限を受けることになります。また、復旧には多くの日数を要することから、災害用備蓄は、最低でも3日分、できれば7日分程度を確保しておくことが重要です。

ライフライン	復旧にかかる日数	想定される生活上の制限など	備えておくべきもの
電気	6日	・照明が使えない ・冷蔵庫や冷凍庫が稼働しない ・エアコンなどの空調機器が使えない ・スマホなどの電子機器が充電できない	LEDランタンなどの照明器具、電池、ポータブル電源、モバイルバッテリー、ラジオなど  LEDランタン
上下水道	30日	・水道水が使用できない ・お風呂に入れない ・トイレが使えない ・洗濯ができない	飲料水（1人1日3ℓ）、給水タンク、雨水タンク、携帯トイレ（1人1日5回分）、衛生用品（トイレットペーパーやウェットティッシュ）など  携帯トイレ
ガス（都市ガス）	55日	・ガスコンロが使えない ・ガス給湯器が使えない	カセットコンロ、防寒具など

※復旧にかかる日数については、平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査報告書より抜粋

●ローリングストック法をご存じですか？

ローリングストック法とは、食料品の備蓄方法の一種で、レトルト食品や缶詰など、非常食としても活用できる食品を買い置きし、普段の食事の中で定期的に消費しながら、その後、消費した分を買い足していく方法のことです。
ローリングストック法を活用しながら備蓄に取り組みましょう。



●自分に必要な備蓄品の確認を

必要な備蓄品は、人それぞれ異なりますので、普段の生活を振り返りながら、自分が必要な備蓄品を確認しておきましょう。

- 女性 → 生理用品、サニタリーショーツ、防犯ブザー、中身の見えないゴミ袋など
- 乳幼児がいる世帯 → ミルク、哺乳瓶、おむつ、離乳食、保湿剤など

高齢者支援ネットワーク

問 長寿介護課 ☎ 448

高齢者支援ネットワークの役割

●高齢者の見守り

地域を巡回している市民団体や事業所、または高齢者が立ち寄る事業所の方が、支援を必要とする高齢者を見かけた場合に、市や地域包括支援センターへ連絡するなど、地域全体で見守ります。
※ネットワークへの登録にご協力いただける事業所などは、「八潮市高齢者支援ネットワーク協力機関登録申請書」を長寿介護課へ提出してください。登録した事業所などにはステッカーを配布しますので、店頭、車、バイクなどに貼ってネットワーク活動の周知をお願いします。



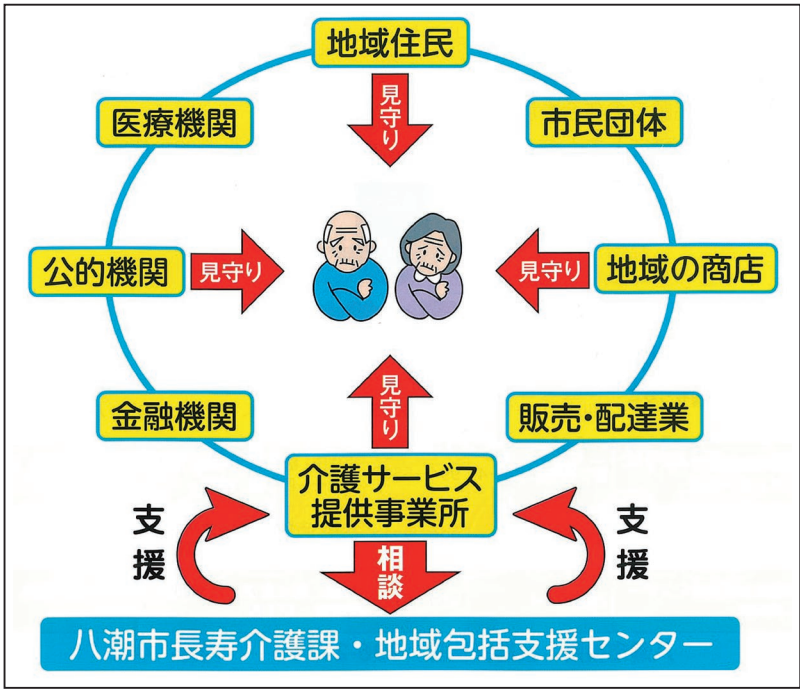
ステッカー

●徘徊高齢者の早期発見

行方が分からなくなった高齢者の情報を、市から高齢者支援ネットワークに登録がある事業所などにメールで提供し、早期発見につなげます。
※徘徊の心配がある高齢者などの情報はあらかじめ登録が必要です。登録を希望するご家族の方は、「八潮市徘徊高齢者早期発見ネットワーク事前登録申請書」に顔が確認できる写真を貼付し、長寿介護課へ提出してください。

高齢者を取り巻く課題は、認知症、高齢者虐待など早急な対応が求められます。そのため市では、行政と地域における各団体や事業所などが連携・協力し合いながら、高齢者を支援していく「高齢者支援ネットワーク」を実施しています。

高齢者支援ネットワークイメージ



高齢者が住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるよう、高齢者支援ネットワークにご協力ください。